

八王子市の自転車盗難の現状と 防犯ポスター・防犯イベントによる防犯意識改善提案

Current Situation of Bicycle Theft in Hachioji City and Proposals to Improve Awareness for Crime Prevention through Posters and Events

井手ノ上和真, 諸星亜由美, 古川海渡, 白石唯人, 四條莉沙, 合原天太
指導教員 棚橋高成, 森本 樹

東京工科大学 工学部応用化学科 地域連携課題 (グループ5)

キーワード: 八王子市, 自転車盗難, 防犯ポスター, 防犯イベント

1. はじめに

八王子市は治安が悪いイメージが強い。実際に、八王子市における犯罪件数、例えば、令和 4 年における八王子市の自転車盗難数は 585 件であり、これは東京都 62 地域中 15 位と上位に位置する[1]。私たちは八王子市における自転車盗難件数の多さに注目し、その原因を探るため、自転車の施錠率や駐輪環境について現地調査を行った。またその調査の結果を踏まえて、盗難数の減少には個人の対策と環境的な対策どちらも必要であると考えた。そこで本発表では、八王子市における自転車盗難の現状を独自の調査を交えて紹介し、その改善に向けた具体的な解決策として、防犯啓発ポスターの掲示と防犯イベントの開催を提案する。

2. 八王子市の自転車盗難の現状

平成 31 年から令和 4 年までの、八王子市における自転車盗難数を図 1 に示した[2]。平成 31 年の 875 件を最大件数とし、コロナウイルスの影響を受けたと思われる令和 2 年、令和 3 年における盗難数の減少を経て、令和 4 年では再び増加していることが分かる。したがって、コロナ禍が落ち着き始めた令和 4 年を皮切りに、今後八王子市では自転車の盗難数が増加すると予測される。

八王子市内で自転車盗難件数の多い地域として、

旭町と大塚、加えて、本学に近い片倉町、八王子みなみ野で駐輪エリア周辺の環境を確認するために現地調査を行った。その結果、盗難件数の多い地域には、施錠率の低さ、そして、防犯カメラや街灯の少なさに問題があることが明らかになった。そこで私たちは、東京都の自転車盗難被害において 59.8%が無施錠である[3]という事実も踏まえて、施錠率の向上が自転車盗難の減少に最も効果的であると考えた。



図 1. 八王子市における年別自転車盗難数

3. 防犯啓発ポスター掲示の提案

施錠率の向上に資する 1 つ目の解決策として、駅構内に B2 サイズの防犯ポスターの掲示を提案する。ポスターには、情報が自然と視界に入る、反復効果による認知度向上、また、他媒体に比べてコストが抑えられるなどのメリットがある[4]。ポス

ターの製作については、八王子市内の小・中学生が参加できる、防犯啓発ポスターコンテストの開催を提案した。コンテストでは、自転車の施錠を促す防犯ポスターとして優秀なポスターを各小・中学校で制作・選抜してもらい、各校から選出されたポスターをさらに市長や有識者に選考してもらう。この取り組みに小・中学生が参加することで、若いうちから防犯意識を身につける機会が得られるメリットもあると考えた。

4. 「チェーンぐるぐるイベント」の提案

2つ目の解決策として、八王子市の高校や大学に協力してもらい、「チェーンぐるぐるイベント」の開催を提案する。例えば、年に2週間程度の期間を設け、生徒・学生に校内の無施錠の自転車を見つけてもらい、無施錠の自転車にチェーンを巻くイベントである。未施錠の自転車を報告した学生には駄菓子等の報酬を用意することで、ゲーム感覚で積極的にイベントに取り組んでもらえると考えた。このイベントの実施により、自転車利用者だけでなく、発見者側にも自然と防犯意識が身に付くことが期待できる。また、コストについては、例えば、本学の規模であれば、大学内の調査からロックチェーン30個程度で十分実施可能であると考えられ、多額の初期投資を必要とせず開催できると考えている。

5. 解決案の効果予想

最後に、この2案の効果について考察する。まず前者について、イギリスでは18カ月間の防犯啓発ポスターの掲示により、掲示前と比較し約40%の盗難が減少した事例がある[5]。さらに、秋田県では、ポスター掲示と声掛けを2ヶ月間行い、年間の盗難件数が20%減少した例[6]もある。これらの事例を基に考えると、今回の解決策では少なくとも10%程度の盗難数減少が期待できる。

一方後者については、富山県で防犯意識の向上と盗難被害の防止を目的とした「カギかけ防犯コンテスト」というイベントが行われていた[7]。今回の提案で同等の効果が得られると仮定すると、

最大50%減少させることができると見込まれる。

6. 参考文献

[1] 八王子市, 令和4年(2022年)犯罪発生状況対比表

https://www.city.hachioji.tokyo.jp/emergency/bousai/m7914685/016/p032262_d/fil/siryou1.pdf
(閲覧:2023年6月13日)

[2] 警視庁, 市区町村の町丁別、罪種別及び手口別認知件数(平成31年~令和4年)

https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/about/mpd/jokyo_tokei/jokyo/ninchikensu.html
(閲覧:2023年6月19日)

[3] 警視庁, 東京都の犯罪(令和4年)

https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/about/mpd/jokyo_tokei/jokyo/hanzai.html
(閲覧:2023年6月19日)

[4] JR東日本企画, MEDIA DATA 2022 交通広告のポジショニングと広告効果

<https://www.jeki.co.jp/transit/mediaguide/data/>
(閲覧:2023年7月3日)

[5] PADRAIC FLANAGAN, Crime... the answer's staring you in the face: The striking new police poster that has slashed thefts by up to 40 per cent, Daily Mail, 2013.6.2.

<https://www.dailymail.co.uk/news/article-2334577/Crime--answers-staring-face-The-striking-new-police-poster-slashed-thefts-40-cent.html>

(閲覧:2023年7月10日)

[6] ぼうはん日本, 自転車盗難減りました 秋田東署管内23%も 学生らキャンペーン

<https://www.bouhan-nippon.jp/action/case/report022.html>
(閲覧:2023年6月19日)

[7] 富山県警察, カギかけ防犯コンテスト

<https://police.pref.toyama.jp/6108/anzen/seika-tsuanzen/kj00020958/kj00020958-009-01.html>
(閲覧:2023年6月28日)